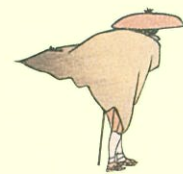


225th anniversary of Hiroshige's birth



# 広重 VS 五葉

甦る浮世絵風景版画の傑作  
〜復刻『保永堂版 東海道五十三次』

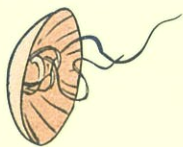
「広重は浮世絵派に於ける風景画家中、最も傑出せる天才的の画家である。」  
— 橋口五葉編纂『浮世風俗やまと錦絵』より



橋口五葉が復刻し1918-19（大正7-8）年に発行した『広重畫 保永堂版東海道五十三驛風景續畫』より、左から『四日市（三重川）』、『桑名（七里渡口）』、『日本橋（朝之景）』、『龜山（雪晴）』、全て部分、木版画

令和4年12月20日（火）

〜 令和5年2月5日（日）



## 鹿児島市立美術館



〒892-0853 鹿児島市城山町 4-36 TEL099-224-3400  
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>

リサイクル適性の表示：紙へのリサイクル可

開館時間 9:30 ~ 18:00（入館は17:30まで）  
休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）、12/29 ~ 1/1  
観覧料 一般 300円 高大生 200円 小中生 150円

所蔵品展もご覧いただけます。また、2回分の観覧料で年間パスポートをご購入いただけます。  
毎月第3日曜日は小中学生の常設展（所蔵品展・小企画展）観覧料が無料です。  
新型コロナウイルスの感染拡大状況により、会期等が変更になる場合がございます。

「お得です！」

所蔵品  
による  
小企画展



225th anniversary of Hiroshige's birth

# 広重 VS 五葉

## 甦る浮世絵風景版画の傑作

〜復刻『保永堂版 東海道五十三次』

令和4年12月20日(火)〜令和5年2月5日(日)

所蔵品  
による  
小企画展

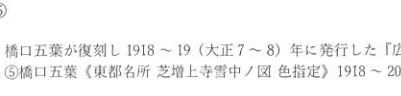
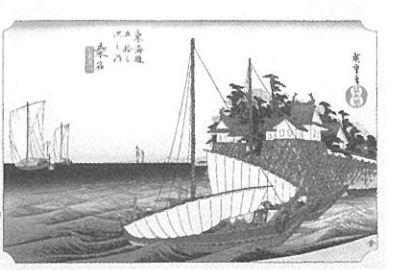
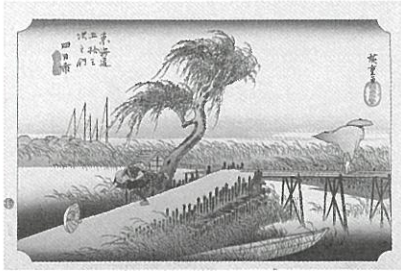
歌川広重(1797〜1858)は、

江戸後期に活躍した浮世絵師です。一方の橋口五葉(1881〜1921)は、大正期に江戸期の錦絵(多色摺り木版画)の技法を用いて優れた美人画を制作したことから「大正の歌麿」と称され、熱心な浮世絵研究者として江戸期の名作の復刻にも尽力しました。

広重が活躍した江戸後期は、交通網の発達と経済的なゆとりから庶民の旅行熱が高まり、街道を描いた錦絵のシリーズが多数生まれました。中でも、江戸と京都を結ぶ東海道は最もよく描かれ、人気の火付け役となったのが広重の保永堂版『東海道五拾三次之内』(1833〜34(天保4〜5)年頒発行)でした。風景描写に季節や気象の変化を取り入れ、街道沿いの景色を抒情的に表現したこの作品によって、広重は一躍人気の風景画家となり、葛飾北斎と共に幕末の浮世絵界を

リードしました。本展では、1918〜19(大正7〜8)年に五葉が編纂監督し岩波書店から発行した復刻『広重畫 保永堂版 東海道五十三驛風景續畫』に収録された木版複製全60枚を展示します。人気ゆえに江戸期に膨大な枚数が摺られたこのシリーズは、後の摺りになるにつれて版の摩耗や色の変更によってオリジナルの雰囲気損なわれたものもあつたため、五葉は復刻にあたり、複数の摺りから最も良くできたものを選び、紙も広重が選んだものに近いものを採用するというこだわりを見せています。

五葉の浮世絵研究資料や復刻のための下絵等とあわせてご覧いただくことで、広重の風景画の抒情美と、浮世絵の研究と復刻にかけた五葉の情熱をお楽しみいただけたら幸いです。



橋口五葉が復刻し1918〜19(大正7〜8)年に発行した「広重畫 保永堂版東海道五十三驛風景續畫」より、①《日本橋(朝之景)》、②《四日市(三重川)》、③《桑名(七里渡口)》、④《龜山(雪晴)》、全て木版画  
⑤橋口五葉《東都名所 芝増上寺雪中ノ図 色指定》1918〜20(大正7〜9)年頃、墨・水彩、紙 ⑥橋口五葉《浮世絵史考一二三》1914〜15(大正3〜4)年、冊子



鹿児島市立美術館  
〒892-0853 鹿児島市城山町4-36 TEL099-224-3400  
https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/

### 駐車場案内

※駐車可能台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 美術館駐車場 6台 (美術館正面向かって右側の道路沿い)
- 共用駐車場 (メルヘン館隣、9:30〜18:00、バスは要予約)  
普通車 31台、大型バス 3台 (マイクロバス 7台)  
※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
- 周辺駐車場
  - ・鹿児島市役所みなと大通り別館駐車場 (無料、平日8:30〜19:00、土日祝9:00〜18:00)  
※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
  - ・美術館周辺コインパーキング (有料)
  - ・セラ602駐車場 (有料)
  - ・近隣施設駐車場 (無料)  
黎明館、かごしま近代文学館・メルヘン館  
※美術館駐車場が満車の場合に限ります。長時間の駐車はお控えください。  
各施設の都合によりご利用いただけない場合があります。

### 同時開催の展覧会

□冬の所蔵品展 ミニ特集：タイムスリップ-100年前の美術  
令和4年12月13日(火)〜令和5年3月5日(日)

### 次回の展覧会

□小企画展「鑑賞入門 みるを楽しむ」  
令和5年2月7日(火)〜3月19日(日)  
□春の所蔵品展 ミニ特集：ワカガキー匠たちの青春  
令和5年3月7日(火)〜5月21日(日)

### アクセス案内

- ・カゴシマシティビューバス「西郷銅像前」下車徒歩1分
- ・市電「朝日通」/バス「金生町」下車徒歩5分
- ・JR鹿児島中央駅より車で10分
- ・鹿児島北インターより車で20分

ギャラリートーク  
(担当学芸員による作品解説)  
先着10人(申込不要、要観覧料)  
日時：1/14(土)・1/28(土)  
14〜15時  
場所：展覧会場(2F企画展示室)